

令和6年度 第3学年 国語科年間指導計画・評価規準

1 評価方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
項目	<p>言葉の働き、話し言葉と書き言葉、漢字、語彙、文や文章(文法)、言葉遣い、表現技法、書写、伝統的な言語文化(古典)、文学史、情報の扱い方に対する事項(情報と情報の関係、情報の整理)、読書</p> <p>・以上の項目のうち、知識、技能に関する課題の達成度を、テスト、成果物、観察のいずれかで評価します。</p> <p>・以上の項目に関する知識、技能の活用力を問う課題の達成度を、テスト、成果物、観察のいずれかで評価します。</p> <p>漢字・文法・書写・語彙・古典の知識・文学史・表現技法・情報の扱い方に対する理解</p>	<p>【話すこと、聞くこと】</p> <p>話題の設定、情報の収集、内容の検討、構成の検討、考えの形成、表現、共有、構造と内容の把握について、テスト、成果物、観察等で達成度を評価します。</p> <p>(例)</p> <p>・スピーチ、発表、弁論、聞き取りテスト、話し合い、討論、インタビュー等</p> <p>【書くこと】</p> <p>題材の設定、情報の収集、内容と構成の検討、考えの形成、記述、推敲、共有について、達成度をテスト、成果物、観察等で評価します。</p> <p>(例)</p> <p>・随筆、意見文、小論文、評論文、物語文を作成する等</p> <p>【読むこと】</p> <p>構成、構造、内容の把握、精査、解釈、考えの形成と共有について、達成度をテスト、成果物、観察等で評価します。</p> <p>(例)</p> <p>設定や構造の読解、内容の読解、収集した情報を活用し、考えを形成する課題等</p>	<p>その単元で示された知識・技能を獲得したり、思考・判断・表現を身に付けたりすることに向けた、</p> <p>(1)粘り強い取組 (2)自らの学習状況を把握し、調整する力</p> <p>を成果物、観察等で評価します。</p> <p>・以上の項目について、ノートやレポートワークシートの内容、課題への取り組み方、授業への姿勢、振り返りカード等の自己評価、相互評価の状況等</p>

2 年間指導計画

学期	月	単元名	時数	学習内容	評価規準と評価の観点
1 学期	4	一言でまとめ一言から広げる	1	・話した内容を一言でまとめる言葉を考える。	【思判表】目的や場面に応じて材料を整理し、伝え合う内容を検討している。
		春に／立ってくる春	4	・文学的文章のそれぞれの種類と特徴を読み解く。	【思判表】文章の構成や物語の展開、表現の仕方について評価している。
		私	4	・記号としての「個人情報」に対する考え方の相違を、自分でまとめる。	【思判表】文章を批判的に読み、ものの見方・考え方について考えている。
		漢字の広場 1.2 音・熟字訓	1	・熟字訓と漢字の音の歴史を理解する。	【知・技】熟字訓と漢字の音の歴史について理解している。
	5	A Iは哲学できるか	4	・筆者の事例や主張が適切なのかを考えながら読む。	【思判表】文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方を捉えている。
		風景と心情 漢詩	4	・漢詩の読まれた背景や文学史、漢詩の基本的な決まりを理解する。	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことで、その世界に親しめたか。
		言葉の小窓 1 和語・漢語 ・外来語	1	・和語・漢語・外来語の違いを理解する。	【知・技】和語・漢語・外来語について理解している。
		文法の小窓 1.2 助詞・助動詞	1	・助詞・助動詞を理解する。	【知・技】助詞・助動詞を理解している。
	6	なぜ物語が必要なのか	2	・構成や展開、表現の仕方に着目して、随筆の特徴を考える。	【思判表】随筆の特徴について理解を深めている。
		A sync／問いかける言葉	6	・二つの文章を比較しながら読み、評価する。	【思判表】文章の構成や物語の展開、表現の仕方について評価している。
		説得力のある批評文を書く	3	・多角的な視野で、資料やデータを活用しながら、批評文を書き、推敲する。	【思判表】表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、伝わりやすい文章の工夫を考えている。
		まとめた情報で作品集／説明文を書く	2	・調べる学習コンクールと関連付けて、具体例を用いた、説得力のある文章を、体裁を整えてまとめる。	【思・判・表】多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。
	7	旅への思い 芭蕉 奥の細道 ／俳句の味わい	1		
			5	・芭蕉の俳句と近代の俳句を比較しながら、俳句への理解を深める。	【思判表】俳句の構成や表現の仕方について、評価している。

	構成を考えて主張をまとめる	1	・弁論大会と関連付けて、仲間同士で構成を相互に評価しながら、より説得力のある構成を考える。	自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。
2 学 期	9 初恋・やわらかな想い／最後の一句	3	・詩歌・文章の種類や構成について、既習事項を踏まえて読み解く。	【主体】粘り強く詩歌・文章の種類や構成について理解し、今までの学習を生かして考えたことを説明しようとしている。 【知・技】敬語への理解を深めている。 【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読み、その世界に親しんでいる。 【思判表】場の状況に応じて、積極的に言葉を選び、主張しようとしている。
	言葉の小窓2 敬語 和歌の調べ 万葉・古今・新古今	1 5	・敬語についての理解を深める。 ・詠まれた歴史的背景を考えながら、和歌を読み解く。	
	表現の工夫を評価してスピーチをする（弁論）	3	・助言や動画をもとに、自分のスピーチをより良いものにする。	
	10 自己PR文を書く	1	・取材し、材料の使い方を工夫し、自分の良さを適切に伝える文章を書く。	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深められたか。 【思判表】文章を読んで考えを広げたり、深めたりして、自分の意見をもてた。
	故郷	6	・物語の設定・構成・展開などを理解し、主題への自分の考えをもつ。	
	11 ニュースで情報を編集／実用文を読む バースデー・ガール	7 4	・ニュースや実用文の情報を吟味し、他者に自分の言葉で伝える。 ・物語の特色に着目しながら、構造を読み解く。	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し、使えている。 【主体】表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。 【知・技】慣用句・ことわざについての理解を深める。
言葉の小窓3 慣用句・ことわざ	1	・慣用句・ことわざについての理解を深める。		
12 意見を共有しながら話し合う／「対話力」とは何か	6	・互いの立場や話し合いの目的を理解し、建設的な話し合いの仕方を知るとともに、実践する。	【思判表】進行の仕方を工夫したり、互いの発言を生かしたりして、合意形成に向けて話し合っている。 【知・技】異字同訓・四字熟語についての理解を深めている。	
漢字の広場 3.4 訓・四字熟語	2	・異字同訓・四字熟語についての理解を深める。		
3 学 期	1 メディアリテラシーはなぜ必要か／新聞が伝える情報を考える	7	・論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたりしたことについて、討論したり、文章にまとめたりする。	【思判表】文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。
	学びのチャレンジ	2	・資料や図表などが含まれている、複数の文章を関連付けながら、問いに正対した答えを導く。	【思判表】文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方を捉えている。
	2 青春の歌 薔薇のボタン	5 5	・様々な種類の文章を読み、それぞれの文章の特徴や表現の工夫について、これまでの既習事項を生かして読解する。	【思判表】文章を読んで考えを広げたり深めたりして、自分の意見をもっている。
	文法的に考える	1	・文章の不自然さや、言葉の使い分けを文法の観点から考え、正しい文章表現ができるようにする。	【知・技】それぞれの品詞やその使い方について理解している。
	3 持続可能な未来を創るために プレゼンテーション	1 4	・持続可能な社会の実現に向けて、自己変容を通じて未来を考える。 ・持続可能な未来を創るための提案をプレゼンテーション形式で行う。	【思・判・表】考えを広げたり深めたりして、意見をもつことができたか。 【思・判・表】場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるよう、表現を工夫している。